

2023 年度 環境ユースフィールド研修
募集要項



主 催：独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金部

受託団体：一般社団法人 TOGA 森の大学校

目 次

1. 環境ユースフィールド研修について.....	2
(1) 目的.....	2
(2) 各プログラムの日程	2
(3) 定員及び対象	3
(4) 応募資格	3
(5) 本研修の参加に係る費用.....	4
2. 応募方法及び応募締切日	4
(1) 応募方法	4
(2) 申込先	4
(3) 応募締切日	4
(4) 応募方法に関する注意事項	4
(5) 研修生の選考・通知	5
3. その他	5
4. 研修参加にあたっての注意事項	5
5. 個人情報の取り扱いについて.....	5
6. 問い合わせ先	6
別添資料	
研修スケジュール	

1. 環境ユースフィールド研修について

(1) 目的

この研修では、地域における環境問題の現状を知り、現場での実践的な経験や知見を得る機会を提供することで、将来的に環境 NGO・NPO をはじめとしたさまざまなセクターで環境保全に携わる人材を発掘・育成することを目的とします。

地域の環境保全に強い関心を持ち、持続可能な地域社会の実現に貢献したいという意思を有した学生等を中心としたユース世代を募集します。

(2) 各プログラムの日程

環境ユースフィールド研修は、「事前研修」、「本研修」、「事後報告会」の 3 部構成で実施します。各プログラムの日程及び開催場所、内容は以下のとおりです。なお、本研修の参加者にあたっては、事前研修及び事後報告会への参加が必須となります。

また、災害の発生や社会状況の変化により、日程が予備日へ変更となる場合があります。

事前研修

日 程：2023 年 9 月 23 日(土) 13:00～17:00

※研修時間は予定であり変更になる可能性がございます。

方 法：オンライン研修(WebEx 開催)

※使い慣れた PC、タブレット（可能な限り PC (WEB カメラ必須) を推奨) を使用してください

※安定して速度のあるインターネット回線への接続および雑音が少なく話しやすい静かな場所で受講してください

内 容：訪問地域の基本情報と SDGs や ESD の考え方、サステナビリティの基礎について学びます。また、事後報告会で発表する報告について各自で課題設定を行います。

本研修

日 程：2023 年 10 月 6 日(金)～10 月 8 日(日) (3 日間)

※予備日：2023 年 10 月 13 日(金)～10 月 15 日(日) (3 日間)

場 所：富山県南砺市

内 容：訪問先でのヒアリングやワーク等を通じて、地域の持続性向上・環境問題の

解決・SDGs 達成に向けた活動の実践事例や課題を学びます。
※各日のスケジュールについては別添の参考資料をご確認ください。

事後報告会

日 程：2023 年 10 月 25 日(水) 13:00～17:00

※研修時間は予定であり変更になる可能性があります。

方 法：オンライン研修(WebEx 開催)

※使い慣れた PC、タブレット（可能な限り PC（WEB カメラ必須）を推奨）を使用してください

※安定して速度のあるインターネット回線への接続および雑音が少なく話しやすい静かな場所で受講してください

内 容：事前研修・本研修を踏まえ、各自が予め設定していた課題に沿って報告書を作成し、発表と相互フィードバックを行うことで、多様な視点で地域と課題の理解をより深めます。

(3) 定員及び対象

定 員：10 名

対 象：地域の環境保全に強い関心をもつ 18 歳以上～25 歳以下の方

（本研修は将来的に環境 NGO・NPO をはじめとしたさまざまなセクターで、地域の環境保全に携わる人材を発掘・育成することを目指していることから、今回の選考にあたっては研修の実施地域である中部地方に居所している方及び同地域の出身者を優先いたします）

※高校生は応募できません

(4) 応募資格

- ① 2023 年 8 月 1 日時点で 18 歳以上 25 歳以下の方（高校生は不可）
- ② 研修を実施する地域の環境保全に強い関心を持ち、持続可能な地域社会の実現に貢献したいという意思を有していること。
- ③ 研修の目的や趣旨を理解し、貫徹する意思や学習意欲があること。
- ④ 事前研修から事後報告会まですべての日程に参加できること。
- ⑤ 安全面等に配慮した集団行動ができること。
- ⑥ 一時的な短期滞在者（在留カードを有していない者、外国人登録をしていない者、過去 1 年間に日本に滞在していない者、1 年以内に日本から離れる可能性のある者）でないこと。

(5) 本研修の参加に係る費用

本研修の参加にあたり、居住地と集合・解散場所の間の移動費、本研修期間中の宿泊実費（2泊分、13,000円程度）及び飲食に係る費用を自己負担いただきます。

※飲食にかかる費用については、参加確定後、金額の目安をお知らせします

また、次の経費は別途、各自でお支払いいただきます。

- ・ 個人的性格の費用（クリーニング代、通信費、娯楽費等）
- ・ 傷害、疾病に関する医療費
- ・ 任意の旅行傷害保険

2. 応募方法及び応募締切日

(1) 応募方法

独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金のホームページ (<https://www.erca.go.jp/jfge/training/r05/haken.html>) から必要書類をダウンロードし、必要事項を記載の上、Eメールに添付してお送りください。提出書類は下記のとおりです。（郵送での応募はできません。）

- ① 2023年度環境ユースフィールド研修_申込用紙
- ② SDGs や環境保全活動にかかる所属団体等からの推薦状
※推薦状の提出は任意ですが、選考の参考資料といたします。

(2) 申込先

kikin_kensyu@erca.go.jp（件名を「環境ユースフィールド研修申込_氏名」としてください。）

(3) 応募締切日

2023年8月31日(金)17:00(厳守)

(4) 応募方法に関する注意事項

- ・ 必要書類や記載事項に不備があった場合は、選考の対象になりませんのでご注意ください。
- ・ 応募いただいた方全員に 申込日から 1週間以内に、必要書類受領のメールをお送りします。上記の日までに受領メールが届かない場合は、「6. 問い合わせ先」までご連絡ください。
- ・ 応募書類の内容について、申込完了から 2023年9月1日(金)17:00 までに 10分程度電話等によるヒアリングを実施する場合があります。

(5) 研修生の選考・通知

- ・ 申込書類をもとに趣旨に照らして選考します。
- ・ 選考結果は、メールで2023年9月8日(金)までに通知します。

3. その他

- ・ 選考の結果、研修適格者が募集人数に満たない場合(最少催行人数:3名)、または研修先地域の災害の発生や社会状況の変化などで計画通りの実施が困難になった場合、研修の実施を中止することがあります。

4. 研修参加に当たっての注意事項

- ・ 本研修の参加者は、事前研修及び事後報告会への参加が必須となります。
- ・ 研修中は、主催者や受託団体の担当者(以下「主催者等」という。)の指示や決められた手順に必ず従ってください。主催者等や他の研修生に迷惑をかける行為、或いは決められた活動に参加しない等、主催者等が研修生としてふさわしくないと判断した場合は、研修生としての資格を失います。
- ・ 本研修において、発現した持病や既往症に係る治療費などについては、旅行傷害保険の補償の対象となりません。この場合、治療費などの費用は、当該研修生の負担となります。また、引き続き研修に同行できる状態にならないときは、研修生としての資格を失います。
- ・ 研修生としての資格を失った場合(研修生自己都合による辞退の場合を含む)に発生する各種のキャンセル料・手数料等は、原則として当該者が全額負担するものとします。また、本研修中に資格を失い、帰宅する場合の旅費も当該研修生の負担となります。
- ・ 本研修においては、主催者負担にて国内旅行損害保険に参加者全員が加入します。
- ・ 本研修中の事故や病気等が起こった場合は、国内旅行傷害保険の範囲内において補償するものとします。なお、研修先で研修生の故意または過失によって損害が生じた場合の賠償責任は全て当該研修生が負うものとします。

5. 個人情報の取り扱いについて

参加申込書にてご提供いただいた個人情報については、選考に関するご連絡及び研修の実施に伴う業務のみに使用し、その他の業務には使用いたしません。

6. 問い合わせ先

独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 番 ミューザ川崎セントラルタワー8階

電話：044-520-9505

メール：kikin_kensyu@erca.go.jp

別添資料
スケジュール

【事前研修】

日程	実施方法	プログラム内容
9月23日(土) 13:00 ～ 17:00	WebEx 開催	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション(自己紹介、訪問先についての説明) ・サスティナビリティ基礎講座 ・富山県南砺市の基礎講座 ・意見交換、課題設定

※研修時間・内容は予定になりますので、変更する場合があります。

【本研修】

日程	訪問先等	プログラム内容
10月6日(土)	JR金沢駅 集合 <ul style="list-style-type: none"> ・南砺市役所 ・南砺森林資源利用協同組合 ・菅沼合掌造り集落・五箇山自然文化研究会 ・和紙の里 ・暎水の館(宿泊場所) 	※10時前後の集合を予定しております。 ※集合場所については参加者の発着地に合わせて設定します。 【講義】 南砺市版地域循環共生圏とエコビレッジ構想について ◎南砺市での森林資源の活用政策を知る ◎森林資源の燃料利用を小さな地域で行う意義を考察する ≪菅沼合掌集落見学と茅場見学≫ ◎伝統と現在の課題を時系列に保存しながら活動する様子を学ぶ ≪楮畑見学と和紙漉き体験≫ ◎地域資源の活用「和紙」について知る ◎1日目の振り返り
10月7日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・TOGA 森の大学校 	【講義】 TOGA 森の大学校設立の経緯と概要 ◎山村と奥山・豪雪地帯の暮らしについて知る ◎移住者のお話を聞く

	<ul style="list-style-type: none"> ・ロンレーの森 ・TOGA 森の大学校 <p>暝水の館（宿泊場所）</p>	<p>《森歩き/刈り出しによる更新技術施工地見学》</p> <p>◎紅葉前の森林の豊かさを知る</p> <p>《トチの実拾い、栃もちづくり》</p> <p>◎地域資源を利用した伝統料理を楽しむ（森林資源を利用する食材の下処理の大変さを知る）</p> <p>《グリーンウッドワーク》</p> <p>◎育成木の支障となる小径木の活用を学ぶ</p> <p>◎2日目振り返り</p>
10月8日（日）	<ul style="list-style-type: none"> ・TOGA 森の大学校 ・スノーバレー旧スキー場奥地区入会森林 ・TOGA 森の大学校 <p>JR 新高岡駅 解散</p>	<p>【講義】 森の更新を考える</p> <p>◎森林生態系の豊かさとスパンの長さを知る</p> <p>《森林調査》</p> <p>◎森の棚卸 森林調査を学ぶ</p> <p>◎3日間振り返り</p> <p>※15時前後の解散を予定しております。 ※解散場所については参加者の発着地に合わせて設定します。</p>

※研修地や受入団体の事情により、行程や内容を変更する場合があります

※南砺市での宿泊先は「暝水の館」(https://toga-meisou.com/?page_id=2839)です。

〒939-2514 富山県南砺市利賀村上島 101

【事後報告会】

日程	実施方法	プログラム内容
10月25日（水） 13:00 ～ 17:00	WebEx 開催	<ul style="list-style-type: none"> ・研修のふりかえり ・成果発表プレゼンテーション (発表7分+質疑3分×10名) ・相互フィードバック

※研修時間・内容は予定になりますので、変更する場合があります。